



## 「ケアラー支援条例をつくろう！ネットワーク京都」（京都ケアラーネット） 第1回公開学習会

「京都ケアラーネット」は、あらゆる世代、そして多様なケアを担うケアラー同士をつなぐ、全国で初めてのネットワークです。私たちは、市民主導によるケアラー支援条例の制定、ひいてはケアを大事にする社会の推進を目指しています。そのために、私たちは、ケアラー同士が学びあいながら、ケアを要する人、ケアラーおよび家族を支えるために必要な社会課題を明らかにする、相互理解のプロセスを大事にしていきたいと考えています。その中核に位置するのが、公開学習会です。今回は、認知症家族が抱える課題、そして外国ルーツの家族が抱える課題から、ケアラー支援の問題を検討します。

**日時：2022年8月27日(土)13時～15時30分**

**会場：立命館大学朱雀キャンパス307号室 会場(先着30名)+オンライン(100名)**

**話題提供：鈴木森夫さん（認知症の人と家族の会共同代表）  
大手理絵さん（京都YWCA APT）**

申し込み締切：**8月24日（水）** 参加費無料

氏名・所属・連絡先（メールか電話番号）のほかに、対面かオンライン、いずれかの参加形式を明記してください。オンライン参加の方は受付した後、zoomのリンクを送ります。

【今後の予定】 第2回公開学習会 10月29日（土）  
第3回公開学習会 12月24日（土）

申し込み・問い合わせ先（京都ケアラーネット事務局）  
メール：[carerkyotoactionnet@gmail.com](mailto:carerkyotoactionnet@gmail.com)  
FAX：075-466-3306（男性介護ネット事務局気付）



## 「ケアラー支援条例をつくろう！ネットワーク京都」(略称:京都ケアラーネット)

### 参加のお願い

2020年3月に制定された「埼玉県ケアラー支援条例」をはじめ、これまで、9地方自治体でケアラー支援条例が制定されました(2022年4月1日現在)。また、ヤングケアラーの全国調査では、小学生の6.5%、中学生の5.7%、高校生の4.1%がヤングケアラーであり、その7割が「誰にも相談したことがない」実態があることがわかりました。ヤングケアラーという言葉に注目が集まることで、介護だけではなく、精神疾患をかかえる家族へのケア、しょうがいのあるきょうだいへのケア、不登校やひきこもる人と家族へのケア、日本語を第一言語としない家族へのケアなど、じつに多様なケアがあることが明らかになりました。

「ケア」は、私たちが生まれてから死ぬまで、必要不可欠でかけがえのない営みですが、今の日本社会では、そのほとんどを家族が担っています。ケアラーになることは、自分の体・時間・感情を誰かのために差し出すことであり、そのほかの生活(学業・仕事・余暇)にも影響をおよぼします。したがって、支援を必要とする人だけでなく、ケアラーにも、自分が望む人生を生きるための配慮や支援が必要です。

ケアラー支援への社会的理解と具体的な支援を広げるために、ケアラー支援条例は大きな役割を果たすと考えます。私たちは、子ども・若者ケアラー、親ケアラー、働くケアラー、ダブルケアラーなど、多様な要ケア児者とケアラーを含む全ての当事者の声を広く知ってもらうことを通じて、ボトムアップ(市民活動)で条例を制定し、具体的な施策の実施を推進することが、ケアを家族だけの責任にせず、社会全体でささえるしくみと地域文化・関係づくりにとって重要な過程であると考えます。

ケアラーの声を聞くことを何よりも大事にして、市民参画によるケアラー支援条例を広げるために、私たちは、「ケアラー支援条例をつくろう！ネットワーク京都」(略称:京都ケアラーネット)を立ち上げることにしました(2022年4月1日発足)。

この活動は、これまで京都でケアにかかわる活動や経験を有している個人・団体の緩やかなネットワークの場です。当面、①京都でのケアラー支援の条例化を目指して活動すること、②3年をめどとする期限付きの活動とすること、とします。多くのケアラー当事者団体、ケアラー支援団体にかかわる人たちに参加していただき、市民参画でのケアラー支援条例の制定を目指します。多くの方々の参加をお待ちしております。

#### 【共同代表:50音順】2022年4月19日現在

- 池添 素(京都障害児者の生活と権利を守る連絡会事務局長)
- 小國 英夫(マイケアプラン研究会代表)
- 大手 理絵(京都YWCA APTメンバー)
- 奥村 弘(男性介護者を支援する会 TOMO 代表)
- 河西 優子ども・若者ケアラーの声を届けようプロジェクト YCARP 発起人)
- 梶 宏(きょうと介護保険にかかわる会 理事長)
- 斎藤 真緒(子ども・若者ケアラーの声を届けようプロジェクト発起人)
- 櫻庭 葉子(京都ヘルパーネット連絡会事務局長)
- 鈴木 森夫(認知症の人と家族の会代表理事)
- 田島 英二(医療的ケアネット副理事長)
- 田村 権一(元息子ケアラー・よりよい介護をつくる市民ネットワーク)
- 津止 正敏(男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長)
- 中川 慶子(きょうと介護保険にかかわる会 副理事長)
- 萩本 良子(京都ヘルパーネット連絡会事務局次長)
- 藤本 文朗(東山区不登校と引きこもりを考える親の会世話人)
- 森田 英子(高齢社会をよくする女性の会・京都代表)

【事務局(斎藤・大手)・連絡先】 Mail: [carerkyotoactionnet@gmail.com](mailto:carerkyotoactionnet@gmail.com)

★京都ケアラーネットに賛同者として参加します。賛同者の名簿掲載を許可します。

氏名 : \_\_\_\_\_ 所属 : \_\_\_\_\_ 住所・連絡先 : \_\_\_\_\_ Mail : \_\_\_\_\_